

仁保の名所旧跡 散策して

広島市南区仁保地区の住民たちでつくる仁保郷土史会が、地元の名所旧跡を紹介する散策マップと案内板を作っている。マップは10月末までに完成させ、仁保公民館などに置く。

地区は1600年代半ばまで広島湾に浮かぶ島だった。マップには、島の鎮守として創建されたと伝わる瀬保姫神社▽かつての海岸線沿いに整備された生活道路▽庭園に咲くサツキの花を明治天皇に献上した西福寺▽など24カ所を掲載。お薦めの散策コースも盛り込む。

また、この24カ所のうち14カ所に約20年前に同会が設置した案内板を作り直

西福寺を訪れ、マップと案内板の構想を練る仁保郷土史会のメンバーと市立広島工業高の生徒

マップや案内板 郷土史会が作製

す。老朽化したため、地元市立広島工業高の建築部に協力を依頼し、年内に仕上げってもらう。同会の灰田靖睦会長(69)は「仁保地区に愛着を持ってもらえるよう、見どころを分かりやすく発信したい」と話している。(松本輝)

